

平成 20 年 3 月 27 日

協力企業作業員の負傷について

平成 20 年 3 月 25 日、集中環境施設*の地下 1 階で溶接作業に使用したガスボンベ（約 55kg）の運搬作業を行っていた協力企業作業員が、運搬作業中に腰に痛みを感じたことから、3 月 26 日に病院へ行ったとの連絡を、3 月 27 日午前 9 時 25 分頃、当社は協力企業より受けました。

確認の結果、当該作業員は、3 月 25 日の作業のなかで、ガスボンベを他の作業員とともに持ち上げた際、腰に痛みを感じたため、その後は片付けを行っていました。しかし、翌日になっても痛みが持続していたことから、自宅から病院へ行ったことがわかりました。

診察の結果、本日、「腰部^{ようぶ}挫傷^{ざしょう}、第 4 腰椎^{だいにん}圧迫^{ようつい}骨折^{あつぱく}疑い^{こっせつ}」と診断されました。

本事例については、所内および協力企業に周知し、注意喚起いたします。
なお、当該作業員に放射性物質による汚染はありません。

以 上

* 集中環境施設

発電所で発生する放射性廃棄物を処理するための施設。